

# 赤十字NEWS 6

Japanese Red Cross Society NEWS

JUNE.2024.#1009

## その水遊び、本当に安全!?



CONTENTS

### 特集 | P.2

もしものときに覚えておきたいこと!  
こんなとき、どうする!?  
水の事故の対処法

### TOPICS

令和6年全国赤十字大会を開催  
名誉総裁 皇后陛下ご臨席 ..... P.4-5

### 連載

未来を守る防災ゼミナール ..... P.4  
献血ハートフルストーリー ..... P.5

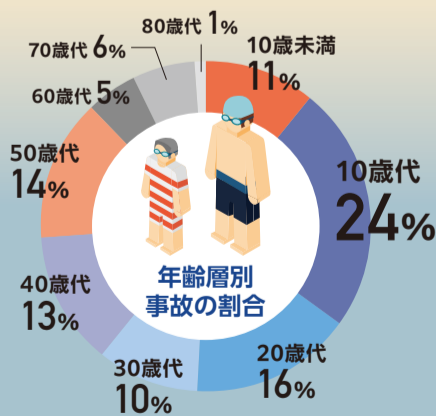
### AREA NEWS

[青森] ワクチンのない時代、伝説の看護師の映画『じよっぱりー看護の人 花田ミキ』完成試写会開催  
[佐賀] 有田陶器市で献血呼びかけ 協力者には有田焼のノベルティ  
[北海道] 水上安全赤十字奉仕団に所属の蝦名愛梨さん、五輪代表選手に! ..... P.6

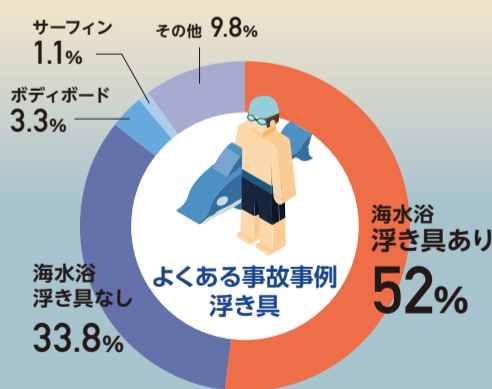
### WORLD NEWS

台湾東部沖地震 救援から復興へ、赤十字の奮闘 ..... P.8

体力のある若い世代の事故が一番多い



「浮き具」がある場合でも事故に遭う



PRESENT!!

株式会社ポイントピュール  
「& Resort  
ボディウォッシュ 420ml」

プレゼント!  
6名様  
詳しくは  
P.7をCheck! ▶

出典:海上保安庁「令和4年 海難の現況と対策」 ([https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20230609\\_state\\_measure01.pdf](https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20230609_state_measure01.pdf))  
日本ライフセービング協会 ANNUAL REPORT2022 (<https://jla-lifesaving.or.jp/wp/images/about/annual-report/2022/>)

# SPECIAL FEATURE | 特集

## もしものときに覚えておきたいこと!

# こんなとき、どうする!?!水の事故の対処法

海や河川など、水辺でのレジャーに出かけることが多いこの季節。一方で、海や河川には危険が潜んでいます。日赤では、水の事故から大切な命を守るため、「赤十字水上安全法」の講習を行っています。今回の特集では、講習でお伝えしている内容にも触れつつ、特に気をつけたいチェックポイントをご紹介します。

## 海の危険な場所

風向きや風速、海底の状態によって波は変化します。水遊び前に天気予報の確認は必須です。天気が良くても波が高いときの水遊びは中止し、防波堤や桟橋を波が乗り越えることがあるので気をつけましょう。

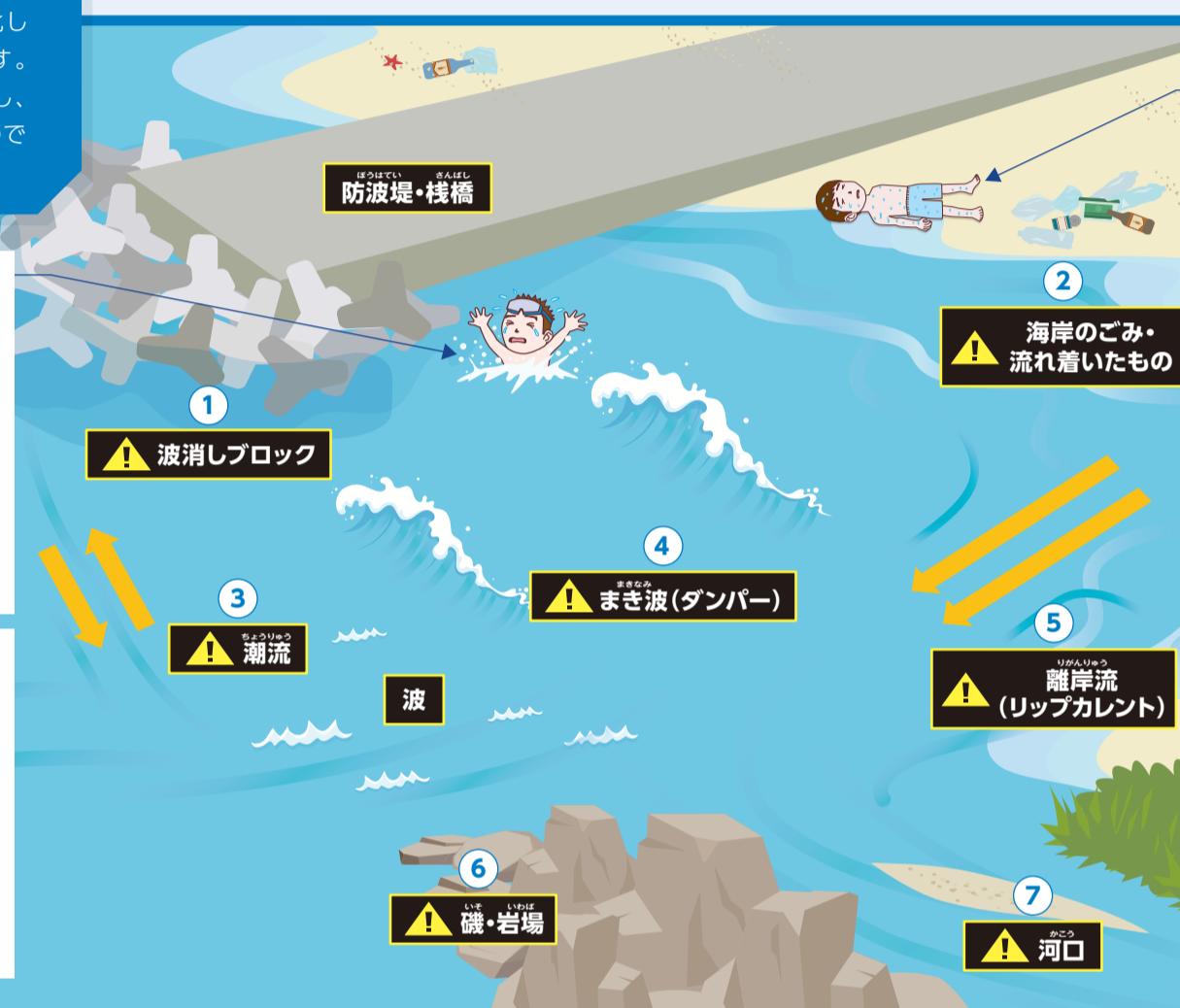
### Q. 溺れている人を見つけた…どうする?



- 1 陸上から長い棒、タオルの端などを差し出してつかませる
- 2 勇気を出して、すぐに飛び込んで助ける
- 3 大きな声で周囲に知らせる

### 【正解はコチラ!】 1・3 周りに協力を求め、入水せずに距離をとって救助する

自ら入水して助けに行く行為は、溺れている人に抱きつかれて共倒れになると、最悪のケースに至る場合も。なるべく水に入らずに救助し、入水する場合は抱きつかれない距離で救助するのが原則です。長い棒や衣服、タオルなど、溺れている人がつかまりやすい長いものを差し出しましょう。溺れている人を引き寄せることが難しい場合は、大きめ(2ℓぐらい)のペットボトルやクーラーボックスなど、浮き具の代わりになるものを渡して救助を待ちます。



### Q. 溺れた人を救出した…どうする?

- 1 うつ伏せて寝かせる
- 2 声をかけ、反応を確認する
- 3 保温する(必要に応じて加温する)



### 【正解はコチラ!】 2・3

まずは反応を確認し、反応がなければ至急119番通報とAEDを依頼

まずは話しかけて反応を確認し、呼吸がない、呼びかけに応えないなどの状態になっていたら至急119番通報をし、近くにいる人にAEDを依頼します。救急車到着までに胸骨圧迫と人工呼吸を続け、濡れた肌を拭いてAEDを使用します。反応があれば、仰向けか横向きで寝かせましょう。低体温症にならないよう、体を温めてあげることが大切です。毛布やバスタオル、なければ衣服などで全身を包んで、できるだけ風当たらない状態を作り、観察します。

## 海での危険ポイント

- 1 波消しブロックなどには近づかない。
- 2 ガラスのかけらや釣り針など、けがをしやすごみに気をつける。
- 3 潮(しお)の満ち引きで水の高さや流れも変わる。
- 4 海底が急な斜面だと波が一気に大きく崩れる。急に巻きこまれると海底にたたきつけられる。
- 5 岸から沖に向かう流れ。地形や波、風の向きや強さによってさまざまな形に変わり、つかまると沖に流される。
- 6 波をかぶるのですべりやすい。
- 7 川が海に合流するところ。流れが強く複雑になっている。

## 河川での危険ポイント

- 1 2つの流れが合わさるため、複雑な流れが起きる。
- 2 立とうとすると足を取られる。また、流れが速いと止まることができなくなる。
- 3 川底の大きな石などに流れがぶつかってできる。
- 4 流れの中にある岩や橋脚の周りは複雑な水流があり、それらや倒木などに引っかかると水圧で動けなくなることも。
- 5 川の流れを緩やかにする堰堤の下流側にはいろいろな流れが起きる。
- 6 川の中で土や砂などが積もっているところ。上流の雨やダム放水で急に水が増えたと岸に戻れなくなる。
- 7 草で周りがよく見えない場所は、すべて川に落ちることもある。

## 河川の危険な場所

河川は場所によって水流の速さが違い、複雑な流れや突然の増水などの危険があります。水遊びの際には必ずライフジャケットを着用しましょう。また、水際では苔などで足がすべり、落水する危険があるので注意が必要です。

### Q. ライフジャケットを着用して水遊び中に川で流されてしまった…どうする?

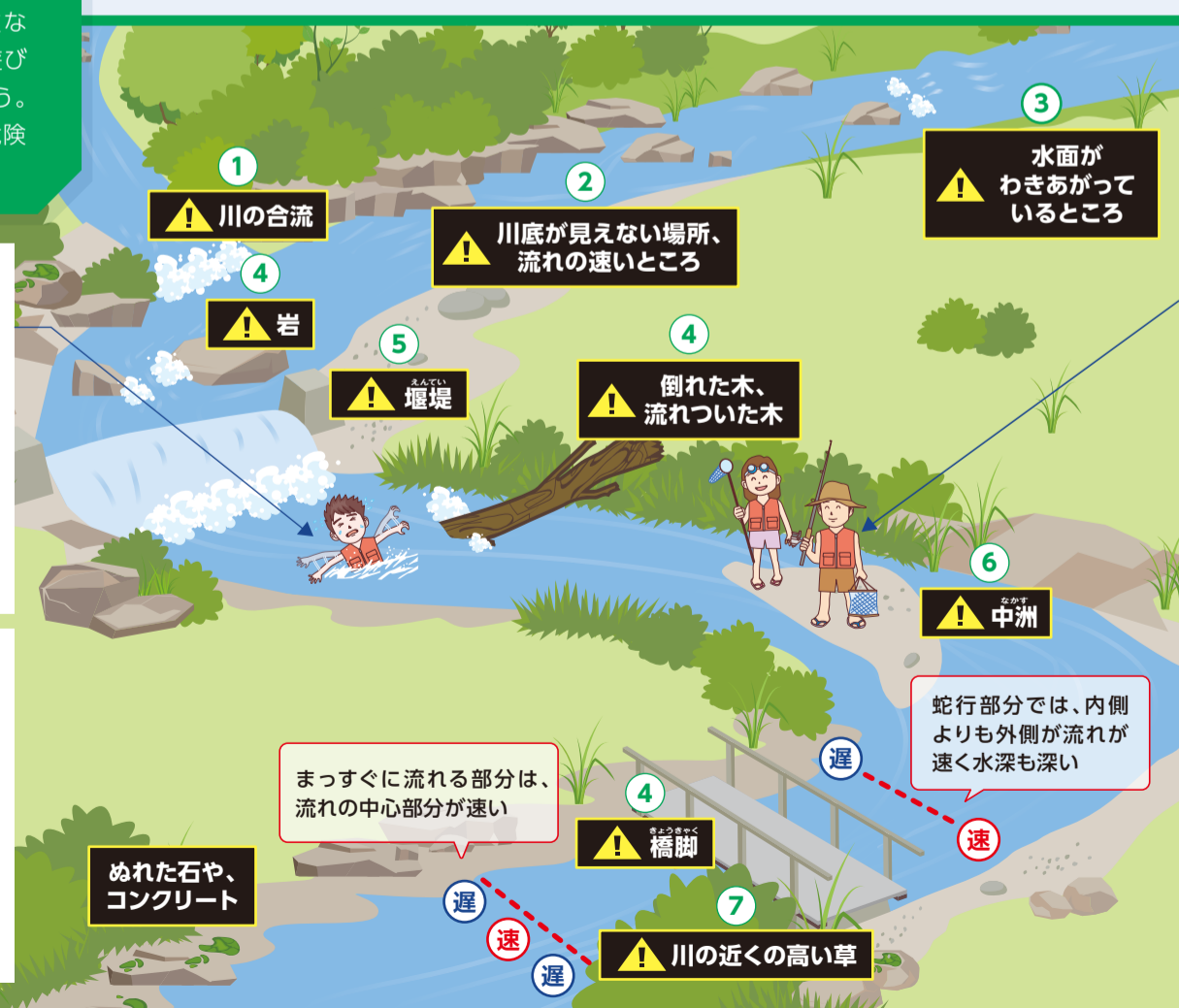
- 1 足を下流に向け、背泳ぎの体勢で足先を水面にまで持ち上げる
- 2 頭を下流に向け、背泳ぎの体勢になる
- 3 平泳ぎの体勢で、流れに身をまかせる



### 【正解はコチラ!】 1 足は下流に向ける。ライフジャケットも正しく着用を

川遊びの際はライフジャケットを必ず着用し、水中で脱げないように正しく身につけましょう。川底に足がつくような水深でも、足をすべらせ、水圧で脱出困難な状態に陥ることがあります。流されたときは、足は下流に向け、足先を水面にまで持ち上げた背泳ぎの体勢をとりましょう。

ライフジャケットの正しい着用方法はこちら(参考)



### Q. 川遊び中に、激しい雨が降り出した…正しい対応は以下のどれ?

- 1 とりあえず中州に避難
- 2 川から上がり、水辺の様子を見る
- 3 急いで水辺から離れる

### 【正解はコチラ!】 3

気象や水面などの変化をはじめ、現場の状況に気を配り、早めに対処する

局所的な雨により、短い時間で急激に増水することがあります。普段は子どもも安心して遊べる穏やかな浅い川であっても、上流から水が集まることで水かさが増し、中州のみこみ、水際にいる人や物まで流される状況に、離れた場所(川の上流)が悪天候、という場合も要注意です。

## information

### 「水上安全法」で安全に水遊びを楽しむ知識を!



赤十字水上安全法講習で使用するハンドブック (この冊子は「日赤サービス オンラインショップ」でも購入可能)

日赤では、緊急時や災害時に人命を救う方法や、健康で安全に暮らすための知識と技術を広めるため、各種講習を実施しています。その中で、水の事故から大切な命を守るための知識と技術を学べるのが「赤十字水上安全法」講習です。詳しくはお住まいの地域の日赤支部にお問い合わせください。また、日赤のWEBサイトでは動画解説も一部交えて水上安全法の基礎知識を学べる「赤十字WEBCROSS電子講習室」を公開しています。下記の二次元コードから視聴可能です。

赤十字WEBCROSS電子講習室 「赤十字水上安全法」はこちら





# T O P I C S

1 TOPICS

## 令和6年全国赤十字大会を開催 名誉総裁 皇后陛下ご臨席

5月15日、令和6年全国赤十字大会が明治神宮会館にて開催されました。全国の会員やボランティアが一堂に会する中、  
名誉総裁である皇后陛下から、事業に功績のあった個人や団体に対し有功章の授与などが行われました。

日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下、名誉副総裁である秋篠宮皇嗣妃殿下、常陸宮妃華子殿下、寛仁親王妃信子殿下、高円宮妃久子殿下のご臨席を仰ぎ、令和6年全国赤十字大会が明治神宮会館(東京都渋谷区)で開催されました。全国から集まった会員やボランティアの代表約1600人が出席する中、赤十字活動

に顕著な功績のあった個人・団体が表彰されました。皇后陛下は、代表受章者の法人3社、個人10人に有功章を授与。法人1社、個人1人が社長表彰を受けました。式典では、冒頭に清家篤社長があいさつ。1月1日に発生した能登半島地震における、全国からの寄付や赤十字ボランティアの協力で感謝の意を表明するとともに、**人道危機が絶えない世界情勢においても、赤十字運動を進めていく決意**を語りました。

実践活動報告では、金沢星稷大学学生赤十字奉仕団の大久保百茄さんが、令和6年能登半島地震における奉仕団の取り組みについて報告。大阪赤十字病院看護部看護係長・川瀬佐知子さんは、イスラエル・ガザにおける医療支援について、紛争前の取り組みと紛争後の現状を伝えました。2人の報告に、皇后陛下ならびに各妃殿下は熱心に耳を傾けておられました。

また、式典終了後には、特別プログラムとして、青少年赤十字加盟校である石川県立能登高等学校書道部の書道パフォーマンスが、初めに指導者の府坂美智子先生より「**書道パフォーマンスは、見てくださる「人」と書き手の思いが融合する**



ことに醍醐味があります。ぜひお楽しみください」とのあいさつがあり、生徒たちはダイナミックな書道パフォーマンスを披露しました。パフォーマンス後、部長の橋本紗奈さんが「部員全員が被災し、仮設住宅で生活するメンバーがいます。私の家も5月になるまで断水していて、水を使う書の稽古をあきらめていた時期もありました。どうすればいいかわからずうつむいてしまう私たちでしたが、周りの人々のサポートや励ましは薬となって、笑顔と元気を取り戻すことができました。今回はその感謝の思いを込めて、「**人が薬**」をテーマに挑みました」と作品に託した思いを述べました。



能登高等学校書道部6人による書道パフォーマンス。能登半島の復興を願い、「人が薬」をテーマにした書で会場を魅了した

### 実践活動の報告



大阪赤十字病院 看護師 かわせ さちこ 川瀬 佐知子さん

イスラエル・ガザ人道危機 過酷な状況下でも途絶えない “いのちをつなぐ活動”

ガザ市にあるパレスチナ赤新月社のアルクツズ病院で昨年7月から看護師の研修などの医療支援に従事する中で、10月7日以降の紛争激化により退避を余儀なくされた川瀬さん。ガザでの経験を振り返り「激しい攻撃が続いて身の危険を感じる中でも、“今こそ、私たちは人道支援を続けなければならぬ”と活動を止めない赤十字。その底力を目の当たりにし、私も看護師としてできることを模索しました」と語りました。また自身が退避するまでの3週間半、「攻撃がひどいとき、眠りにつく前に“もう目覚めないかも”という覚悟で家族にメッセージを送りました。紛争地の人々が、明日が来ることを疑うことなく、穏やかに眠りにつける日が来ることを願って、“いのちをつなぐ活動”を続けていきます」と述べました。



金沢星稷大学学生 赤十字奉仕団 前委員長 おおくぼ もか 大久保 百茄さん

部員全員の力を結集して被災地に寄り添った支援を

約50人が在籍する金沢星稷大学 学生赤十字奉仕団(部)で委員長を務めていた大久保さんは、令和6年能登半島地震におけるボランティア活動について報告しました。同奉仕団は、震災直後から大学内や金沢駅で義援金の呼びかけを行い、25年続く部費の積立からも寄付するなど、支援を続けています。また、NPOと連携して輪島市で行った炊き出しや、穴水町の小中高生を元気づけるためにドーナツを配布した様子なども伝えました。今後もチャリティフェスなどの支援活動を継続することについて、大久保さんは「被災地はニュースで見ると以上に被害が大きく、不便な生活をせざるを得ない状況で、微力でも被災者の力になりたいと感じました。これからも、被災者と共に頑張っていきたいです」と決意を語りました。



看護ケアの研修会の開催



被災した小中高生にドーナツを配布

## 未来を守る 防災ゼミナール

今回のテーマ

命を奪う水の力と「低体温症」津波、洪水に巻き込まれたら

今月の研究部門

災害救援技術部門

栗栖 茜さん

お話を伺った人

日本赤十字看護大学附属 災害救援研究所 客員研究員

日赤の災害救援研究所の専門家の視点から、災害時に必要な知識や今から始められる防災など、役立つ情報を発信します。

災害救援研究所とは?

日本赤十字看護大学付属の研究機関として2021年に発足。災害時の救援活動を通して得た知見を学術的に分析・集約し、被災者の苦痛の予防・軽減を目的とした研究所。

まだまだと気化熱により体温が奪われるので、乾いた布で体を覆うなどして、体温の低下を防ぐこと。体が激しい震えを起こして熱を生み出そうとするので、保温が肝心です。これらの情報は拙著「あなたの身近な低体温症を防ぐには…」(海山社)で詳しく述べています。なお、**水害への備えは「被害に巻き込まれない迅速な避難」が何よりも大切**であることも、お忘れなく。

(栗栖茜さん 談)



HELP姿勢

HELP姿勢=Heat Escape Lessening Posture(熱が体から水へ逃げるのを減らす姿勢)。膝を抱えたり、曲げた膝と胸の間に腕を入れるなど、できるだけ体を丸めましょう。

近年、集中豪雨による川の氾濫・洪水などの危険が高まっています。また、大きな地震も発生しているため、津波への警戒も怠ることはできません。水害の人的被害とはどういったものか。東日本大震災では、発災から1カ月後のデータによると、**亡くなった方の死因の92.4%が溺死**でした\*。そのデータを知ったとき、私は外科医として衝撃を受けました。津波で亡くなった方の何割かは、激しい水の力で致命傷を負ったと予想していたからです。水の中で何が起きているのか…それを検証するため、神奈川県にある港湾空港技術研究所で人工津波を使った実験をしました。わずか50cmの高さの人工津波に対し、体重約50kgの人は津波の渦に巻き込まれ浮上できませんでした。津波のエネルギーは大きいのです。ただこのとき、**津波で助かる方法も確認できました。それは、ライフジャケット**

**トの着用**です。津波の中でライフジャケットを着けた人は水面に浮き続けました。ライフジャケットは水遊びの装備と思われるかもしれませんが、水害から命を守るアイテムです。水に濡れると膨らむ膨張式、ベスト型、コンパクトに折りたたまれているものなど、さまざまなタイプがあります。使いやすいものを選び、家の玄関など、ぱっと手に取れる場所に置きましょう。さて、溺水のほかにも、水害で命を落とす要因があります。体熱が水に奪われ続けることで起きる「低体温症」です。人は体温が35度以下になると、呼吸の減少、血圧の低下が起こり、死に至ることも。**ライフジャケットで水に浮かぶことができれば、イラストにある「HELP姿勢」を取りましょう。**これは、足を体に引き寄せ、水流に触れる表面積を減らすことで、体温の低下を防ぐことができるポーズです。また、陸に上がった後も濡れた

\*「平成23年版警察白書」より

## 献血ハートフルストーリー

vol.6

このコーナーでは、血液事業に携わる日赤職員、ボランティアさん、献血協力者などの人たちが、日々どのような思いで血液事業に取り組んでいるのかを紹介していきます。

### 「献血バス」から広がる、感謝のつながり



今月のひと

profile 兵庫県赤十字血液センター 事業推進部 献血推進課 えびさ たかひさ 江崎 貴久さん

私の献血との関わりは高校時代に始まりました。ときどき訪れる献血ルームで、献血の呼びかけを行う大学生ボランティアに関心を持ち、大学入学後に兵庫県学生献血推進協議会(学生ボランティア団体)に参加。その後、縁があり血液センターに入社しました。今は入社6年目で、最初の4年間は献血バスで県内各地に赴く担当でした。受け付け

業務のほか、大型自動車運転免許を取得して献血バスの運転も任せられました。血液を待つ患者さんのために取り組む気持ちは、学生ボランティアのころと変わりませんが、違うのは思いの深さと責任感でしょうか。献血をしていただく方に、1回限りでなく、「**どうかまた来てください**」という思いで接し、**次も来ていただくための工夫も考えます**。また、献血バスでは1台あたり1日50人以上の協力を必要としています。血液を待つ方々のために、その達成を強く意識しています。

現在私は、献血バスなどの献血会場の設営を交渉する渉外業務に携わっています。コロナ禍で献血協力を中断された企業や団体にも協力再開の交渉に伺いますが、リモートワークなど働き方の変化で、コロナ禍前の協力のスタイルに戻すことが難しい企業は多く、課題を抱えています。協力をお願いする日々の中で改めて感じるのは、企業献

血でも、街中の献血でも、忙しい中で貴重な時間を割いて献血に協力してくださる方々への感謝です。献血は、患者さんや患者さんの家族も笑顔にし、温かな感謝を生みますが、私たち職員も協力してくださる方へ感謝の思いが湧いてきます。**協力のきっかけはどんな些細なことでもよいのだと思います。一人でも多くの方が協力してくださることを、感謝と共に願っています。**



協力企業や団体の担当者へ献血実施に向けて交渉を行う

業務中



# Area News

エリアニュース



全国各地、あなたの生活のすぐそばで日本赤十字社の活動は行われています。



## ワクチンのない時代、伝説の看護師の映画『じよっぱり-看護の人 花田ミキ』完成試写会開催



1914年に青森県弘前市に生まれ、日赤青森県支部の看護師だった花田ミキさんの活躍を描いた映画『じよっぱり-看護の人 花田ミキ』が完成し、3月に八戸市と弘前市で披露試写会が行われました。花田さんは、日赤の救護看護師として3度の戦地派遣を生き抜き、地域の保健衛生に多大なる貢献を果たした方。八戸赤十字病院の看護婦長時代には、ポリオに集団感染した子らを救うため単身で上京し、進駐軍に掛け合い、海外のポリオ対処法の情報を得て、啓発に尽力しました。今回の映画化にあたっては、青森県出身の俳優・木野花、タレント・王林が主要キャストを務め、同県出身の五十嵐匠監督がメガホンを取りました。試写会には日赤職員も参加。八戸赤十字病院 看護部長の箱石陽子さんは次のように感想を寄せました。

「花田さんが訪れた村では結核に感染した少女が小屋に隔離されていました。花田さんは、たった一人、人形一つを持たされて閉じ込められていた幼い少女の衛生環境を整え、栄養を与えただけでなく、太陽や風、人との触れあいを与え、寄り添いました。また、ポリオに苦しむ患者や家族を救うために行動し続けました。組織に訴え、人を巻き込んで変革を起こしていった花田さんを、赤十字看護師として尊敬し、後輩として誇りに思います」

なお、劇中で再現された戦中戦後の日赤看護婦の制服は、日赤本社の赤十字情報プラザでも展示されています。



昭和20年、八戸赤十字病院前での記念撮影。前列左から4人目が花田ミキ(写真提供:映画『じよっぱり-看護の人 花田ミキ』事務局)



上映スケジュールなど詳細はこちら



## 有田陶器市で献血呼びかけ 協力者には有田焼のノベルティ



佐賀県赤十字血液センターでは、ゴールデンウィークの4日間、有田陶器市で献血への協力を呼びかけました。献血にご協力いただいた方には、有田焼のカップを進呈。4日間で201人の方々にご協力をいただきました。

県内では、年度初めで企業の献血協力が得られにくいなどの理由から、必要数に対して約200人分の血液が確保できませんでした。また、国内では、10代から30代の献血協力者が10年で31%減少という課題も。若い世代に向けて呼びかけるため、血液センターではSNSでの告知にも力を入れています。



2022年日本選手権(オープンウォータースイミング10km)で優勝した際の蝦名さん



## 水上安全赤十字奉仕団に所属の蝦名愛梨さん、五輪代表選手に!

2024年7月26日からフランス・パリで開催されるオリンピック。そのうち8月8日14:30(日本時間)に開始する「マラソンスイミング(オープンウォーター)」に、帯広市水上安全赤十字奉仕団(帯水安)に所属する蝦名愛梨さん(22歳)が出場します! 「マラソンスイミング」は海・川・湖といった自然の水の中で10kmを泳ぐ五輪競技で、蝦名さんは世界の強豪と約2時間の戦いを繰り広げます。

北海道・帯広市出身の蝦名さんは4人姉弟の上から2番目。両親含め6人家族全員が、水の事故から人命を守る帯水安に所属しています。母・香織さんは「娘が水上安全奉仕団の救助員資格を取得したのは15歳。この春に自衛隊の体育学校に入職したのも、赤十字に関わったことで災害支援などに貢献したいという思いがあったようです。海のない町で生まれ育った子ですが、自然の中で実力が出せるよう祈っています」と語りました。



## 『戦争と生きるカプログラム supported by 赤十字』 『SSFF & ASIA2024』で上映中

詳しくはこちらから



米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭「ショートショート フィルム フェスティバル & アジア」(SSFF & ASIA)が今年も開催。2015年の終戦70年を機に、赤十字国際委員会(ICRC)は同映画祭で『戦争と生きるカプログラム supported by 赤十字』を立ち上げ、映画祭とのコラボは10年目を迎えます。今年も、リアル会場(表参道ヒルズ・スペースオー/6月9日13:50~15:20)とオンライン会場(~6月30日まで)の双方で、

計11作品を上映中。ICRCが制作し、カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバルのフィルムクラフト部門でグランプリを受賞した短編ドラマ『HOPE(希望~彼女の命を救えなかった理由)』のほか、オンライン限定上映では、クルド人大工が足を失くした人のために義足を作ろうとするノンフィクション作品『大工職人』など、さまざまな作品が出品されています。作品紹介やオンライン視聴方法など、詳しくは二次元コードから。

### 『HOPE(希望~彼女の命を救えなかった理由)』



時間:1分49秒/ジャンル:ドラマ

### 『大工職人』



国:クルディスタン/時間:14分/ジャンル:ノンフィクション

### 常任理事会開催報告

令和6年4月26日、令和6年度第1回の常任理事会が開催されました。今回の常任理事会では、創立150周年に向けた取り組み、「赤十字この1年 令和5年度」及び令和6年度ブランディング動向について、それぞれ報告しました。

令和6年5月16日、令和6年度第2回の常任理事会が開催されました。今回の常任理事会では、日本赤十字社における気候変動対応の検討状況、赤十字の看護基礎教育にかかる個別案件について、それぞれ報告しました。

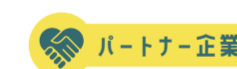
### 第104回代議員会開催公告

令和6年6月28日(金)、午後2時30分から新霞が関ビル[全社協・選尾ホール](東京都千代田区霞が関3丁目3番2号)において第104回代議員会を開催し、下記の事項を付議いたします。 令和6年6月1日

第1号議案 役員の見直しについて  
第2号議案 令和5年度事業報告及び収支決算の承認について



## 安心・安全な商品づくり、環境保全の取り組みで社会貢献



ひとり親世帯(一人親家庭、母子家庭、父子家庭)と寡婦の生活支援を行う那覇市母子寡婦福祉会に自社商品の贈呈を行った

沖縄県久米島を拠点に化粧品や医薬部外品関連の商品開発を行うポイントピュール。同社は「安心・安全なものをお客様のためにも、自分のためにも使いたい」という思いで、沖縄の自然素材や話題の成分に着目した商品づくり、大学との共同研究や技術開発に取り組んでいます。また、サステナブルな社会づくりにも早くから注力し、日赤にも10年以上にわたって活動資金の支援を続けています。久米島は国内最大級の珊瑚礁が沖に広がり、島の溪流および湿地がラムサール条約に登録されるほど、豊かな自然に恵まれた島。この自然を守るため、サングソク団体への寄付、工場排水の浄化装置設置による海の保全、植物由来原料を用いた包材採用といった環境に配慮した取り組みのほか、那覇市母子寡婦福祉会への商品寄贈など、地域の人々を支えるための活動にも尽力しています。



合計6名様

& Resortボディウォッシュ 420ml  
A.フローラルフルーティーの香り(3名様)  
B.アセロラローズの香り(3名様)

- プレゼント希望者は、以下の項目を明記のうえ、郵送・WEBでご応募ください。
- ①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤赤十字NEWS6月号を手に入れた場所(例/献血ルーム) ⑥ご希望のプレゼントA・B ⑦6月号読者アンケートの回答
- ※ご応募いただいた個人情報はプレゼントの発送および弊社からのお知らせのみに利用いたします
- (?)6月号読者アンケート質問項目
- [A] 日赤の「会員」ですか  
ア.会員(年間2千円以上の寄付を継続している。但し、義援金を除く) イ.会員ではない
  - [B] 赤十字について知っている活動はどれですか※下記記載からA~ケの文字をご記載ください。複数選択可  
ア.国内災害救護 イ.国際活動 ウ.赤十字病院 エ.看護師等の教育 オ.献血(血液事業) カ.救急法等の講習 キ.青少年赤十字 ク.赤十字ボランティア ケ.社会福祉
  - [C] 今月号の赤十字NEWSをお読みになって、以前よりも赤十字活動全体についての理解が深まりましたか  
ア.とても理解が深まった イ.ある程度理解が深まった ウ.すこし理解が深まった エ.以前と変わらない
  - [D] 興味・関心を持った記事・企画はどれですか  
ア.特集 イ.TOPICS ウ.防災ゼミナール エ.献血ハートフルストーリー オ.エリアニュース カ.プレゼント キ.ワールドニュース
  - [E] 赤十字NEWSの適切な大きさは  
ア.今のまま イ.A4サイズ ウ.小冊子(A5 148x210mm)サイズ
  - [F] 赤十字NEWSの発行回数は何回がよいですか  
ア.月に1回 イ.2カ月に1回 ウ.3カ月に1回 エ.半年に1回
  - [G] 赤十字NEWSの記事をスマートフォンやパソコン(オンライン)で読みたいですか、いままでもお読みですか  
ア.オンライン イ.どちらかというオンライン ウ.(オンラインと紙の)両方 エ.紙 オ.どちらかという紙
  - [H] その他、赤十字NEWSに関するご意見、ご要望(任意)

郵送/〒105-8521東京都港区芝大門1-1-3 日本赤十字社 広報室 赤十字NEWS 6月号プレゼント係 WEB応募/下の二次元コードからご応募ください。 6月28日(金)必着 ※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます



ご応募はこちらから





### 台湾ってどんなところ？

東アジアに位置し、人口約2342万人を抱える台湾。年間の訪日者数は約420万人(2023年、日本政府観光局)にもなり、2011年の東日本大震災の際には200億円を超える義援金で日本の復興を支えた。今年の能登半島地震では、台湾政府が民間から集めた寄付はわずか2週間で5億4000万台湾元(約25億円)にのぼった。

## 台湾東部沖地震 救援から復興へ、赤十字の奮闘

2024年4月3日に発生した台湾東部沖地震。発災から2カ月が過ぎた中でも、支援を必要とする人々に寄り添い、復興へ向け取り組む赤十字の姿があります。今回は、台湾における救援活動と、台湾と日本の赤十字の深い関係についてレポートします。

### 迅速な対応と救護活動により 多くの人を救う台湾赤十字組織

4月3日午前7時58分(日本時間午前8時58分)、台湾の東部沖沿岸を震源としたマグニチュード7.4の地震が発生。花蓮市で震度6強を記録したほか、広い範囲で揺れが発生し、日本の沖縄、フィリピン沖でも津波警報が発出されるなど、大きな影響を及ぼしました。花蓮市では、ビルが傾いたり倒壊したり、至る所に大地震の爪痕が残され、また、震源に近い観光地の太魯閣渓谷では、大規模な地滑りや落石が発生し、一時数百人が孤立状態に。さらに、地震後に雨が降ったことで行方不明者の捜索・救助活動が難航しました。

5月17日時点では、建物の倒壊や土砂崩れに巻き込まれ18人が死亡、1155人が負傷、2人が行方不明。このほか170棟の建物が取り壊しや早急な修繕・補強が必要な状態にあり、1900世帯以上の居住環境に大きな被害が確認されています。

**台湾赤十字組織(以下、台湾赤)の花蓮支部の災害対応チームは、発災から1時間半後には被災地域に出動し、市街地でビルに閉じ込められた人々の救出や太魯閣渓谷での救護活動にあたりました。**さらに、被災地付近の小学校運動場にテント20張を設置し、避難した人々を受け入れる環境も提供。これまで災害対応チーム32人が、消防庁と協力して負傷者や行方不明者の捜索、避難誘導などの活動を計8回実施しました。また、

11人の赤十字ボランティアが、避難所の設営やロジスティクス・事務管理の支援にあたり、4月6日までに花蓮市の3カ所に被災者の一時避難場所として計46張のテントを設けました。この他にも台湾赤は、今回の震災により犠牲になった方のご遺族に弔慰金を給付し、連絡の取れた負傷者にもお見舞い金を配布するなど、**中長期的な被災者支援にも注力しているところ**です。

今回のお見舞い金の配布にあたり、台湾赤の王清峰会長と職員は、負傷者が入院する病院を訪れ、入院中の被災者の慰問を実施しました。被災者の林さんは、病気の父と会うために花蓮市を訪れた際に被災し、左手首の骨折と脳震とうで入院。当時を振り返り、「地震が発生した瞬間にすぐに身を守る行動をとっていただければ、こんなに大きなけがをしなくてもすんだかもしれない」と語ります。また、落石で重傷を負った妻の見舞いに訪れていた徐さんは、「家族で営んでいた喫茶店は全壊してしまいましたが、息子が太魯閣にいなかったことが唯一の救いだった。皆さんからお見舞いの言葉をいただき、感謝している」と話しました。

### 台湾と日本のつながりを 感じる支援と交流の歴史

日赤は、この地震を受けて、4月5日から「2024年台湾東部沖地震救援金」の受け付けを開始しました。台湾と日本はこれ

までも、お互いの災害に際して多くの支援を行ってきた間柄。台湾赤と日赤の関係も深く、**台湾赤の職員が日赤の保健医療ERU(緊急対応ユニット)研修に参加するなど、災害発生時の救護活動や人道支援について、技術向上の交流も実施してきました。**2011年の東日本大震災では、当時日赤が募集した救援金に対し、台湾赤を通じて70億円を超える寄付があり、また、同組織の王清峰会長は震災後に15回も被災地を訪問し、人々を励まし続けました。これらの支援は、住宅の設営や保育施設の再建といった、被災者が平穏な日常や健やかさを取り戻すための事業に大切に活用されました。

今回の救援金には多くの方から支援をいただき、これまでに日赤は台湾赤へ3億円の資金援助を実施。6月初旬には、7億5000万円の追加資金援助を行います。この資金は、震災の影響を受けた人々への経済的支援、居住支援や家庭用品の引換券の配布、学費や教育補助金を提供する教育支援、台湾赤の救護活動のための車両やさまざまな設備の拡充、そして、これから先を見据えた、地域住民参加型の防災訓練や備えを強化するために使われる予定です。

被災した台湾の人々、そして迅速かつ多岐にわたる救援活動に取り組む台湾赤を支えるべく、日赤もできる限りの支援を継続していきます。



花蓮市の高層ビルで救助活動を行う台湾赤の災害対応チーム ©TRCO



出動準備を進める台湾赤の災害対応チーム ©TRCO



一時避難用のテントを設置 ©TRCO